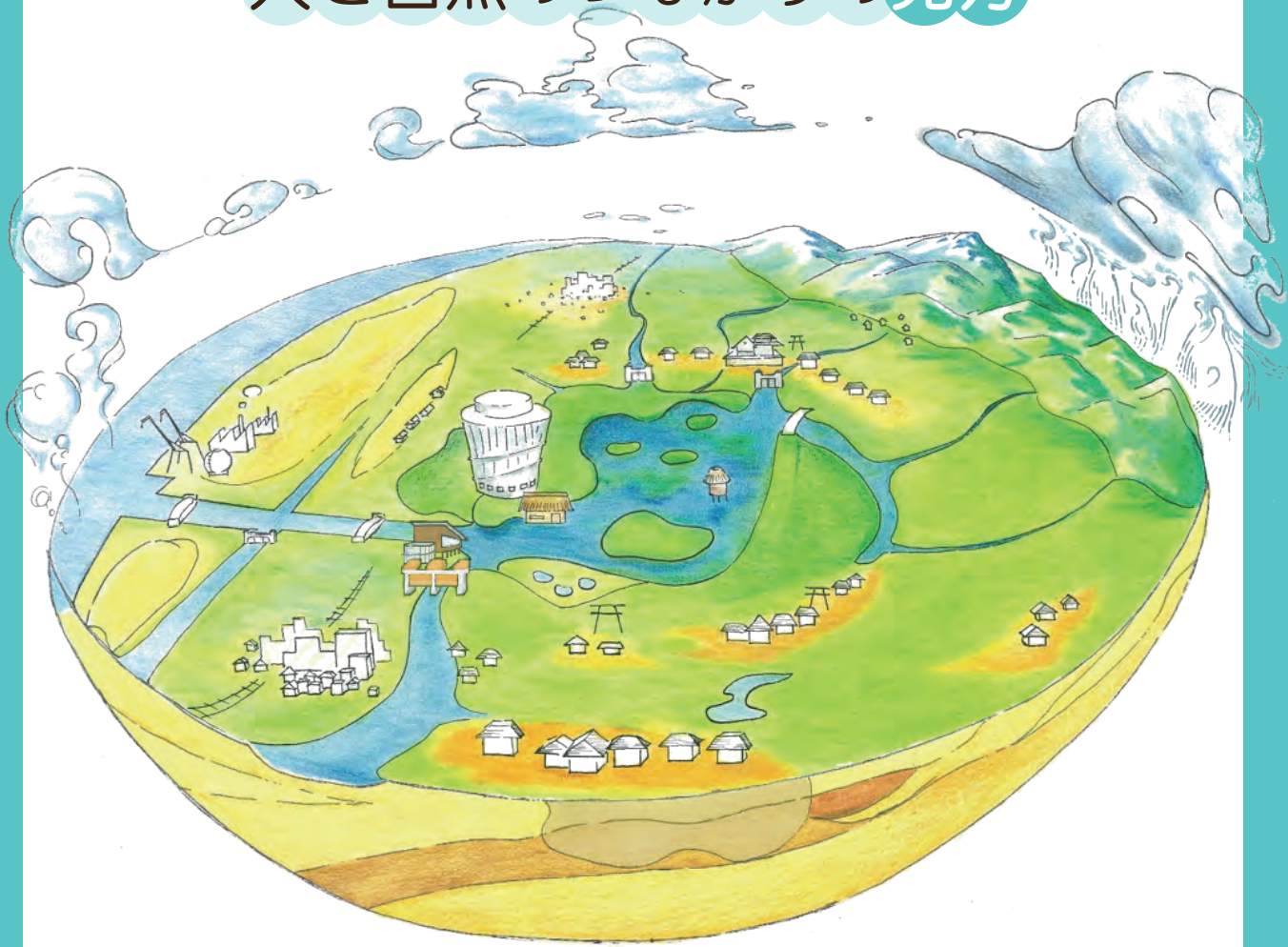


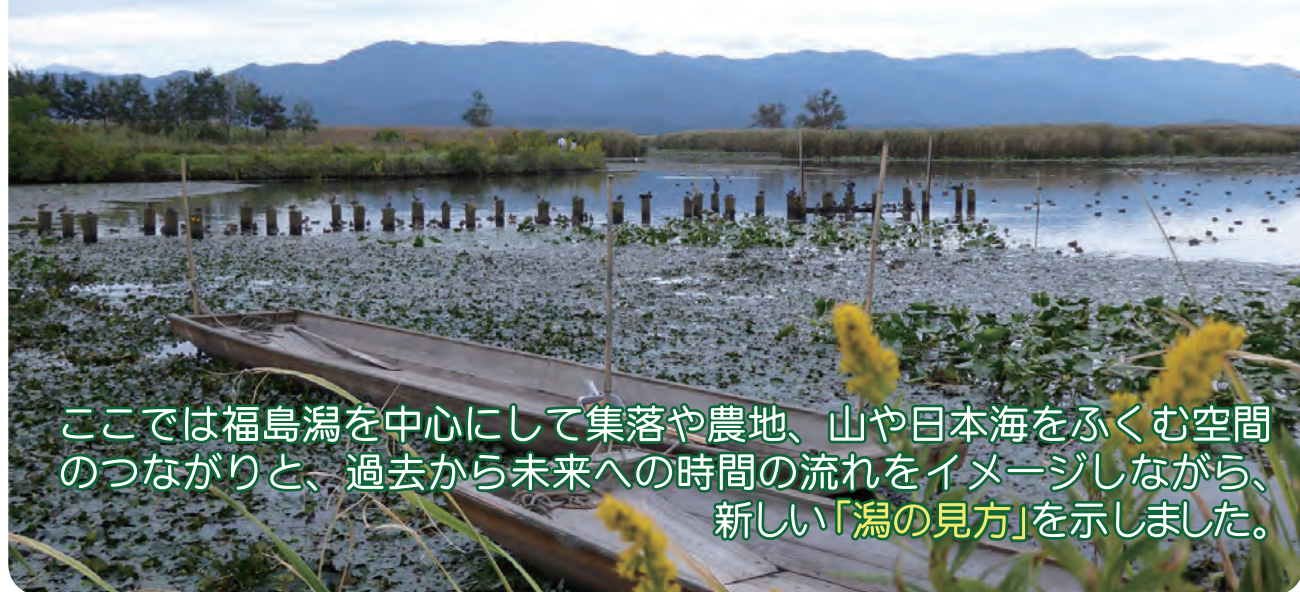
福島潟の風景

人と自然のつながりの見方



0. はじめに

福島潟では「ビュー福島潟」や「潟来亭」、「雁晴れ舎」などを拠点に、人と自然の様々な交流活動があります。



ここでは福島潟を中心にして集落や農地、山や日本海をふくむ空間のつながりと、過去から未来への時間の流れをイメージしながら、新しい「潟の見方」を示しました。

- 0. はじめに
- 1. 山・潟・海への水のつながりを感じよう！ (P.3-4)
- 2. 人の暮らしと4つの潟を知ろう！ (P.5-6)
- 3. 土地の履歴から福島潟を見てみよう！ (P.7-8)
- 4. 福島潟を巡ろう！ (P.9-10)
- 5. 将来の潟の風景を考えよう！ (P.11-12)

—河童の案内人紹介—

僕「ポンタ」。福島潟にすんでいる河童だよ。「ユウタ」とは大の友だち。いろんなことを「ユウタ」に教えてもらっている。僕も潟のことを勉強しているんだ。

ここでは今の福島潟につながっている空間や時間をうんと広げて新しい「潟の見方」を紹介するね。きっと今までと違った福島潟の風景が見えてくるよ。



空間的つながり

潟の周りの集落や農地、さらに五頭連峰や日本海まで、潟をとりまく空間のつながりを、「断面図」をつかって考えてみるよ。

時間的つながり

過去から現在、そして未来への時間のつながりのなかで、潟や農地がどう変化してきたか「時間地図」をつかって考えてみるよ。

